

# BCP・サイバー訓練ツール 「dan-lo」のご紹介

2026年4月13日更新

ニュートン・コンサルティング株式会社

## 手間なくBCP訓練を最適化！ 「いざという時」も強い組織に

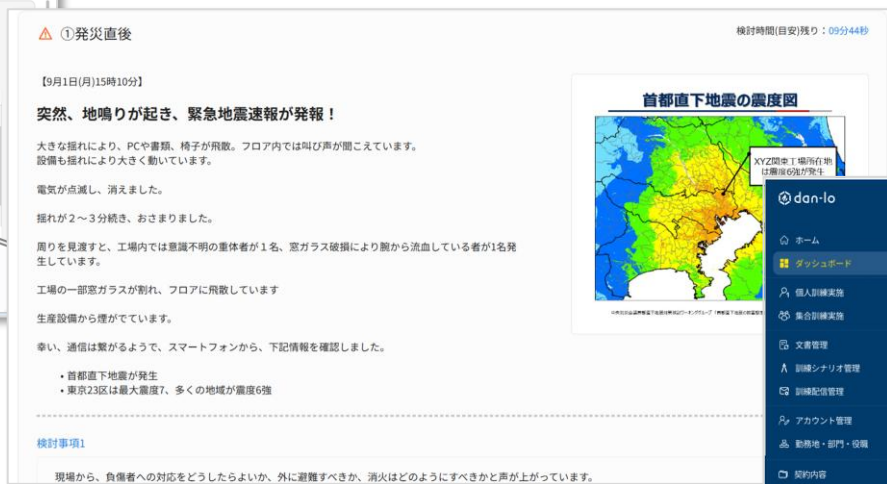
### 【dan-loに込めた思い】

「dan-lo」という名前は、暖炉の前で語らうように、気軽に効果的な訓練をとの思いから。

# dan-lo画面イメージ



訓練シナリオ作成



訓練実施



訓練結果の確認

# BCP・サイバー訓練ツール「dan-lo」ができること

## 機能①



個人とグループ両方での  
訓練に対応

個人でも集合形式でも、  
適切な訓練形態を提供

## 機能②



スマホでもPCでも！  
スキマ時間で訓練可能

どのような環境でも気軽に  
訓練実施可能

## 機能③



貴社のBCPを読み込み  
AIがシナリオを生成

貴社ルールに則った行動ができてい  
るか訓練シナリオを自動生成

## 機能④



訓練で検討した内容を  
AIが自動採点

貴社ルールや有事対応のポイントに  
沿った対応ができたか自動採点

## 機能⑤



コンサルタントが作成する最新の  
訓練シナリオも提供

最新事例やトレンドを抑えた  
実用性の高い訓練を提供

## 機能⑥



部署・拠点単位での実施状況を  
一元管理し、ダッシュボードで可視化

訓練結果をダッシュボードに反映し、  
訓練実施状況やレベルを確認

## 【集合訓練機能】



## 【個人訓練機能】



# 集合訓練の実施

## ■ 集合訓練とは

- オフィス、店舗、工場などで役職者が集まり、災害等の状況に対して対応方針を協議
- 危機発生時に想定される損害や検討事項の認識を合わせ、組織としての危機対応力を向上

## ■ 対象者

- 本社対策本部メンバー
- 支社・支店・営業所、店舗、工場

## ■ 当日の実施方法

- ① 参加者が会議室に集合(またはウェブ会議にて集合)
- ② 事務局がPCをプロジェクターに接続(またはオンライン会議ツールにて画面投影)
- ③ dan-loを立ち上げ、訓練開始
- ④ dan-loが画面にシナリオと検討事項を表示
- ⑤ 参加者は、シナリオに対して対応を議論
- ⑥ 参加者は、対応結果をdan-loに入力
- ⑦ dan-loが入力結果を判定し、解説を表示
- ⑧ 参加者は、解説内容を踏まえ振り返りを実施

## 【 実施イメージ 】



対策本部メンバー / 支社・支店・営業所/店舗/工場の現場責任者および主要メンバー

# 個人訓練の実施

## ■ 個人訓練とは

- 従業員がdan-loを使って、自社のルールや災害対応を学び、危機対応力を向上させる

## ■ 対象者

- 全社員

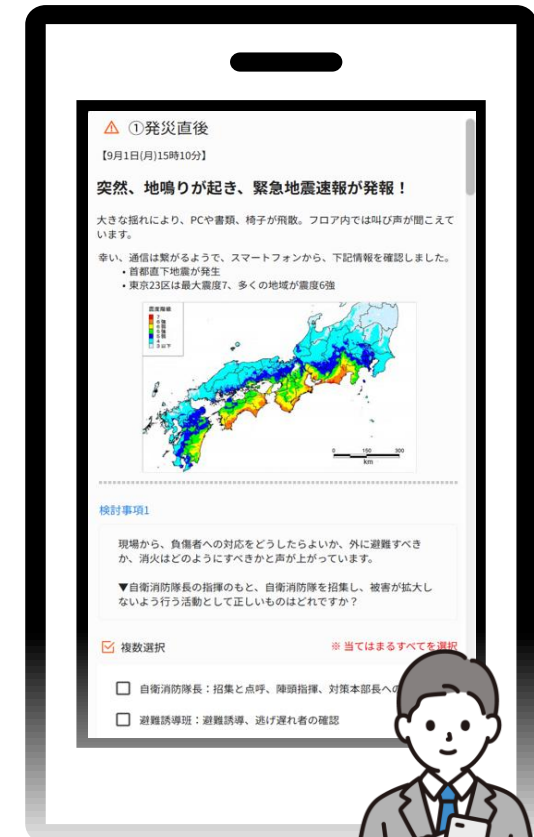
## ■ 実施方法

- ① 参加者はdan-loを開く
- ② dan-loがシナリオと設問を提示
- ③ 設問に対して、参加者が対応を選択
- ④ dan-loが対応結果を評点し解説

## ■ dan-lo活用3つのメリット

- 自社のルールだけでなく、一般的な災害情報に基づき訓練コンテンツを作成
- 各従業員の危機対応力を評価し、全社的な危機対応力を底上げ
- 「1回3分」でもOK！ 手軽にできる訓練で、従業員の危機意識を向上

※訓練シナリオは自由に編集可。ボリューム・難易度を訓練対象者に合わせることができます。



# 【参考】ご利用可能なシナリオテンプレート一覧

- トライアルでは、以下10本のテンプレートをご利用いただけます。本契約いただけましたら、順次シナリオが追加されます！

本契約では  
新規シナリオを  
順次追加！

#	名称	事象	業種	対象者	フェーズ	実施形式
1	首都直下地震訓練	地震	業界汎用	対策本部	ERP/CMP	集合
2	南海トラフ訓練	地震	製造業（工場）	現地対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
3	命を守る行動訓練	地震	業界汎用	従業員	ERP	個人
4	安否確認訓練	地震	業界汎用	従業員	ERP	個人
5	帰宅判断訓練	地震	業界汎用	従業員	ERP	個人
6	台風訓練	風水害	製造業（工場）	現地対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
7	工場火災訓練	火災	製造業（工場）	現地対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
8	富士山噴火訓練	噴火	業界汎用	対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
9	ランサムウェア訓練	サイバー攻撃	業界汎用	対策本部	CMP/BCP	集合
10	ランサムウェア訓練	サイバー攻撃	業界汎用	従業員	ERP	個人

# 【参考】サブスクリプションでご利用可能なシナリオテンプレート一覧

- サブスクリプションをご契約いただくと、さらに様々なシナリオをご利用いただけます！（2026年2月現在）

#	名称	事象	業種	対象者	フェーズ	実施形式
1	南海トラフ訓練	地震	業界汎用	オフィス対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
2	台風訓練	風水害	業界汎用	オフィス対策本部	ERP/CMP	集合
3	火災訓練	地震	業界汎用	テナント入居オフィス	ERP/CMP	集合
4	ランサムウェア訓練 -内部不正-	サイバー攻撃	業界汎用	従業員	ERP/CMP	集合
5	首都直下地震訓練	地震	製造業（工場）	現地対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
6	線状降水帯訓練 -江東5区浸水-	風水害	製造業（工場）	現地対策本部	ERP/CMP/BCP	集合
7	サプライチェーン訓練 -取引先の供給停止-	取引先経営破綻	製造業	本社対策本部	CMP/BCP	集合
8	★事例シナリオ★ サイバー攻撃訓練	サイバー攻撃	—	本社対策本部	CMP/BCP	集合

# 【参考】シナリオイメージ

集合訓練

## 状況／検討事項

② 発災当日
検討時間(目安): 15分

【XX月 X日 (月) XX時XX分】

本社は、緊急対策本部が設置されました。この後、対策本部会議が開催されると告知がありました。

現在の状況は以下の通りです。

【社内の状況】

- 安否確認システム 回答済: 55%
- 負傷者
- オフィス内
  - 軽傷 ○○名 (全員処置済み)
  - 重症 ○○名 (搬送済1名)
  - 死亡者 0名
- オフィス外 (安否確認システムでの回答)
  - 軽傷 ○○名
  - 重症 ○○名
  - 死亡者 0名
- オフィス
  - 〇階で小火が発生、初期消火で鎮火済み
  - 〇階の天井が一部剥落
  - 〇階、○〇階の窓が破損しガラスが飛散
  - エレベーターは全機停止中 (閉じ込められ者は救出済み)
  - 停電、非常用電源が作動中水道およびトイレは使用不可
  - 停電により社内ネットワークが停止
  - 停電によりPCはラップトップのみ電源稼働

【社外の状況】

- 社会インフラ
- 電気: 23区を含む関東南部の広い範囲で停電が発生

発災直後
検討時間(目安): 15分

【XX月 X日 (月) XX時XX分】

みなさんは普段の職場で仕事をしています。突然、緊急地震速報が鳴り響きました。

立てられないようなとても大きな地震が発生しました。キヤベネットやモノが倒れる音が聞こえます。誰かの悲鳴も聞こえます。2~3分ほど揺れが続く、ようやく収まりました。

周りを見渡すと、社員はかなり動揺し、けが人も複数発生している模様です。ややパニック気味の社員が「すぐにも避難すべきではないか」と声をあげています。幸い、通信は繋がるようで、スマートフォンから、下記情報を確認しました。

- 都心南部にて強い地震が発生
- 東京23区は最大震度7、自拠点を含む多くの地域が震度6強
- 今後も強い揺れに警戒が必要

検討事項1

この時点で、どのような対応をしますか?

自由記述



首都直下地震の震度図

凡例: 震度7 (赤), 震度6強 (オレンジ), 震度6弱 (黄), 震度5強 (緑), 震度5弱 (青), 震度4 (水色), 震度3以下 (白)

個人訓練

出張中の被災
検討時間(目安): 2分

あなたは出張中で、ホテルに宿泊しています。

テレビを見ていると、突然画面が切り替わりました。どうやら、自宅周辺の地域で、最大震度7の直下型地震が発生したとSNSで連絡があり、家族の無事は確認できました。

ニュースを見ると、以下の情報が分かりました。

- 最大震度7の直下型地震が発生。現在地の周辺では6弱を観測
- 広い範囲で停電が発生している

なお、自分が滞在している地域は被災地から大きく離れており、

検討事項3

スマートフォン（携帯端末）には、安否確認システムの通知が来ます。適切なものを選択して回答してください。

単一選択

自身がいる地域は被災地の報告基準を満たしていないため回答しない。

出張中で被災地にはいないことは上司も知っているため回答しない。

勤務時間外での被災
検討時間(目安): 3分

あなたは仕事を終え、帰宅中です。

突然、緊急地震速報が鳴り響きました！ 足元から突き上げるような強い揺れを感じました。電気が消え、しばらくして揺れは収まりました。周囲では、悲鳴が聞こえ、怪我をしている人もいます。

スマートフォン（携帯端末）でネットニュースを見ると、以下の情報が分かりました。

- 最大震度7の直下型地震が発生。現在地の周辺では6弱を観測
- 広い範囲で停電が発生している

検討事項1

スマートフォン（携帯端末）には、安否確認システムの通知が来ます。安否確認システムで報告する内容のうち、必ず報告しなければならない項目は次のうちどれでしょう。該当するものをすべて選択してください。（複数選択）

**※ 自社に合わせてツールおよび選択肢をカスタマイズしてください**

複数選択 ※ 当てはまるすべてを選択

自身の安否

今後の予定（出社可否/自宅待機/避難等）

被災場所

発災までの自身の行動

## 解説

① 解説

■ 発災当日の情報収集の原則

〈一般的な分業情報収集班（災害の発生・世の中の状況・政府・自治体）〉

安否確認班

- 社内の安否確認
- 負傷者・死亡者

オフィス班

- 社員の安否確認
- 社員の被害状況
- 社員の行動状況
- 社員の所属部署
- 社員の所属階層
- 社員の所属フロア
- 社員の所属ビル
- 社員の所属テナント

■ 緊急時の対応

緊急時には、優先順位を考慮し、以下の対応を優先します。

- 1. 身の安全の確保
- 2. 身の安全の確保が最優先であることを踏まえ、以下の対応が求められます
- 3. 避難行動
- 4. 避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください
- 5. 避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

① 解説

■ 発災当日の情報収集の原則

〈一般的な分業情報収集班（災害の発生・世の中の状況・政府・自治体）〉

安否確認班

- 社内の安否確認
- 負傷者・死亡者

オフィス班

- 社員の安否確認
- 社員の被害状況
- 社員の行動状況
- 社員の所属部署
- 社員の所属階層
- 社員の所属フロア
- 社員の所属ビル
- 社員の所属テナント

■ 緊急時の対応

緊急時には、優先順位を考慮し、以下の対応を優先します。

- 1. 身の安全の確保
- 2. 身の安全の確保が最優先であることを踏まえ、以下の対応が求められます
- 3. 避難行動
- 4. 避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください
- 5. 避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

■ 避難行動

避難行動は、防災センターまたは自衛消防隊の指示に従って行ってください。避難する場合は、慌てて押し合わず、落ち着いて指定の一時避難場所に避難する必要があります。

検討事項3

スマートフォン（携帯端末）で安否確認システムに回答してください。

評価: 評価エリア

単一選択

自身がいる地域は被災地の報告基準を満たしていないため回答しない。

出張中で被災地にはいないことは上司も知っているため回答しない。

① 解説

例え現在地が被災地企業は従業員の命をまもるため、また、出張中の場合が多い。

① 解説

安否確認システムに定める報告事項は以下の通りです。

A. 自身の安否  
B. 怪我の有無  
C. 被災場所  
D. 被害状況  
E. 今後の予定

それ以外の事項については、必要に応じて報告をしてください。  
なお、安否確認においては①簡潔性 ②正確性 ③具体性 ④迅速性を心がけるとよいでしょう。

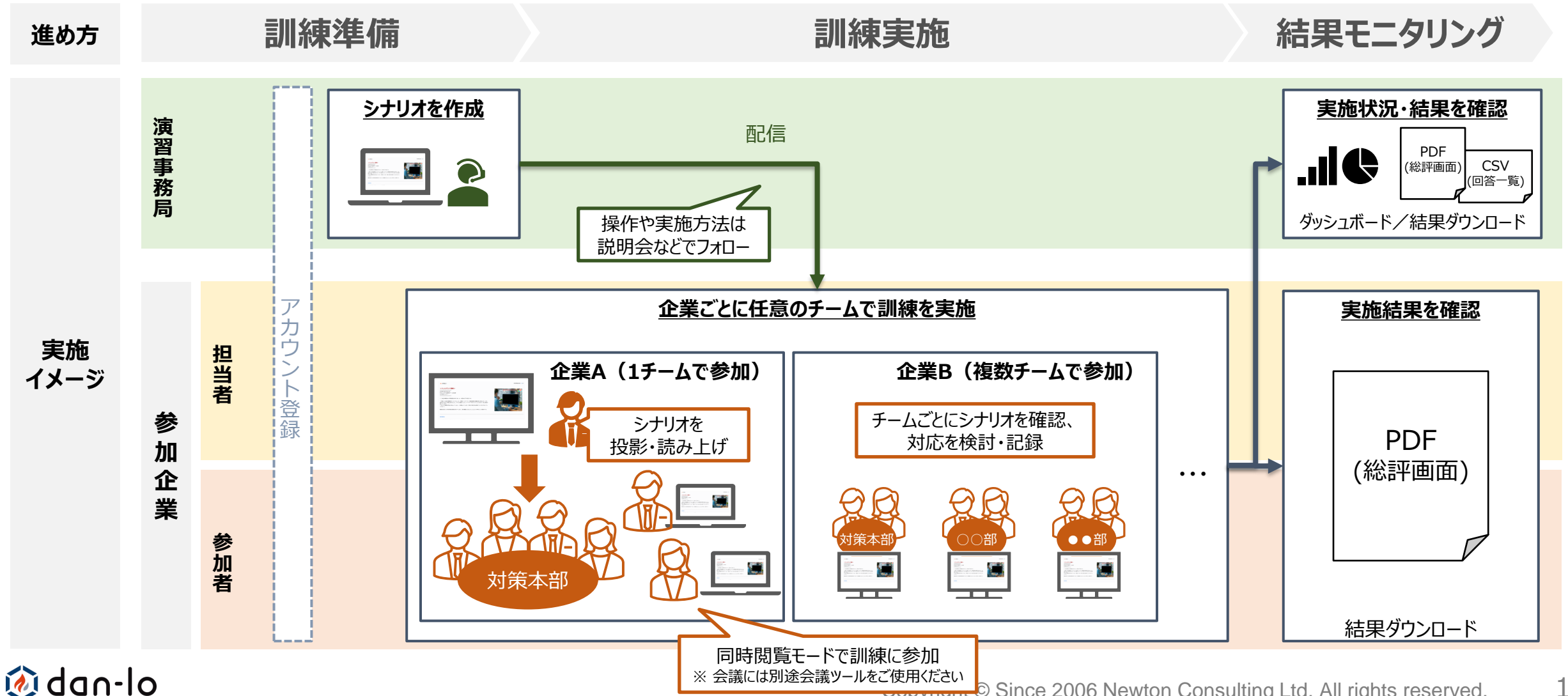
# 【参考】dan-lo導入事例

300社、8000名以上が参加し、dan-loを活用した訓練を実施しています。

#	訓練形式	訓練種別	訓練概要とdan-lo活用方法	訓練時間と頻度	顧客	訓練参加者
1	集合訓練	業界横断演習	複数企業が参加する業界横断演習。 dan-lo上で、共通シナリオを参加企業ごとに配信し、各企業は主要部門が参加し、対応方針を検討し、dan-loへ入力。	年1回実施 1回あたり2～3時間	行政機関、金融機関、 業界団体	1回の演習で10～50企業が参加 各企業から10～200名が参加。
2		対策本部訓練 (共通シナリオ)	dan-lo上で、共通シナリオを配信し、対策本部メンバーが一堂に会して、 対応方針を検討。	年1～2回実施 1回あたり1.5～3時間	サービス業、商社、金 融機関、エネルギー会 社、製造業	対策本部メンバー10～30名
3		対策本部訓練 (部門別シナ リオ)	対策本部の各部門に対して、部門別のシナリオを配信し、各部門で対応 方針を検討。その後、対策本部会議で各部門の対応報告と全社方針を 検討。	年1～2回実施 1回あたり1～2時間	金融機関	対策本部メンバー約10部門とその 部課長
4		拠点別訓練	各工場ごとにシナリオを作成し、配信。工場ごとで、現地対策本部メンバ ーが集まり、dan-lo上のシナリオに対して、対応方針を検討する。	年1～2回実施 1回あたり1～2時間	製造業	各工場の主要メンバー
5		部門別訓練	部門ごとにシナリオを作成し、部門ごとに訓練を実施。 2～3週間の期間を設定し、その期間中、部門ごとに、部門の主要メンバ ーが集まり、1～2時間でdan-lo上で訓練を実施する。	年2回実施 1回あたり1～2時間	金融機関	BCPを策定した各部門の部課長
6	個人訓練	ルールの周知・ 教育	対策本部メンバーがdan-lo上で各々、個人訓練を実施し、対策本部の 体制、役割、機能を確認する。1～2週間の期間を設定し、その期間中に 対策本部メンバーが業務の合間に、dan-lo上で訓練を行う。	年3～4回実施 1回あたり5～15分	保険業	対策本部メンバー
7			各店舗の拠点長に対してdan-loの個人訓練を活用し、各店長が、危機 発生時の対応を学ぶ。1～2週間の期間を設定し、その期間中に各店長 が業務の合間にdan-lo上で訓練を行う。	年3～4回実施 1回あたり5～15分	エネルギー会社	各店長
8			自衛消防隊メンバーがdan-loの個人訓練を活用し、自衛消防隊の組織 編成、役割、各班の機能を訓練する。1～2週間の期間を設定し、自衛 消防隊各メンバーが業務の合間にdan-lo上で訓練を行う。	年3～4回実施 1回あたり5～15分	商社	各フロアの自衛消防隊メンバー

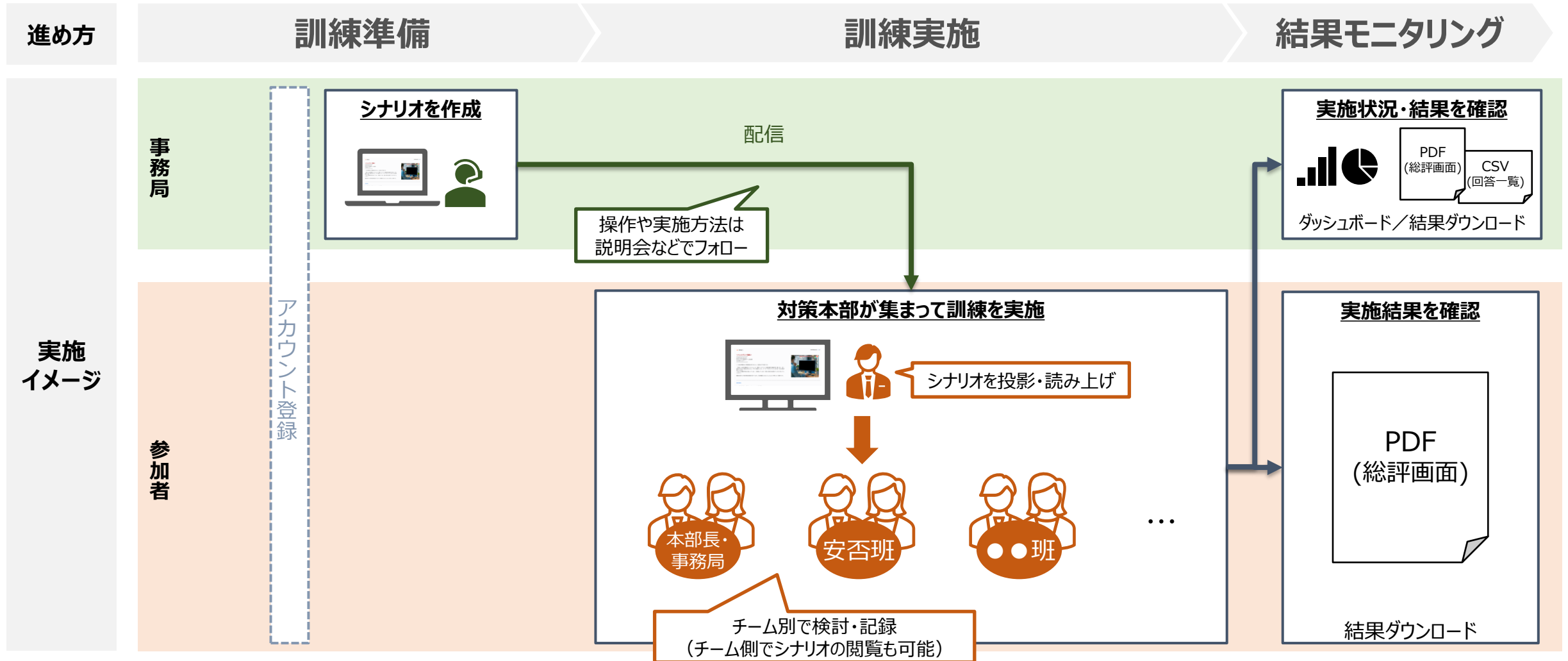
# 【参考】 dan-lo活用事例 – 1. 業界横断演習

- 業界横断演習の実施イメージは以下の通りです。



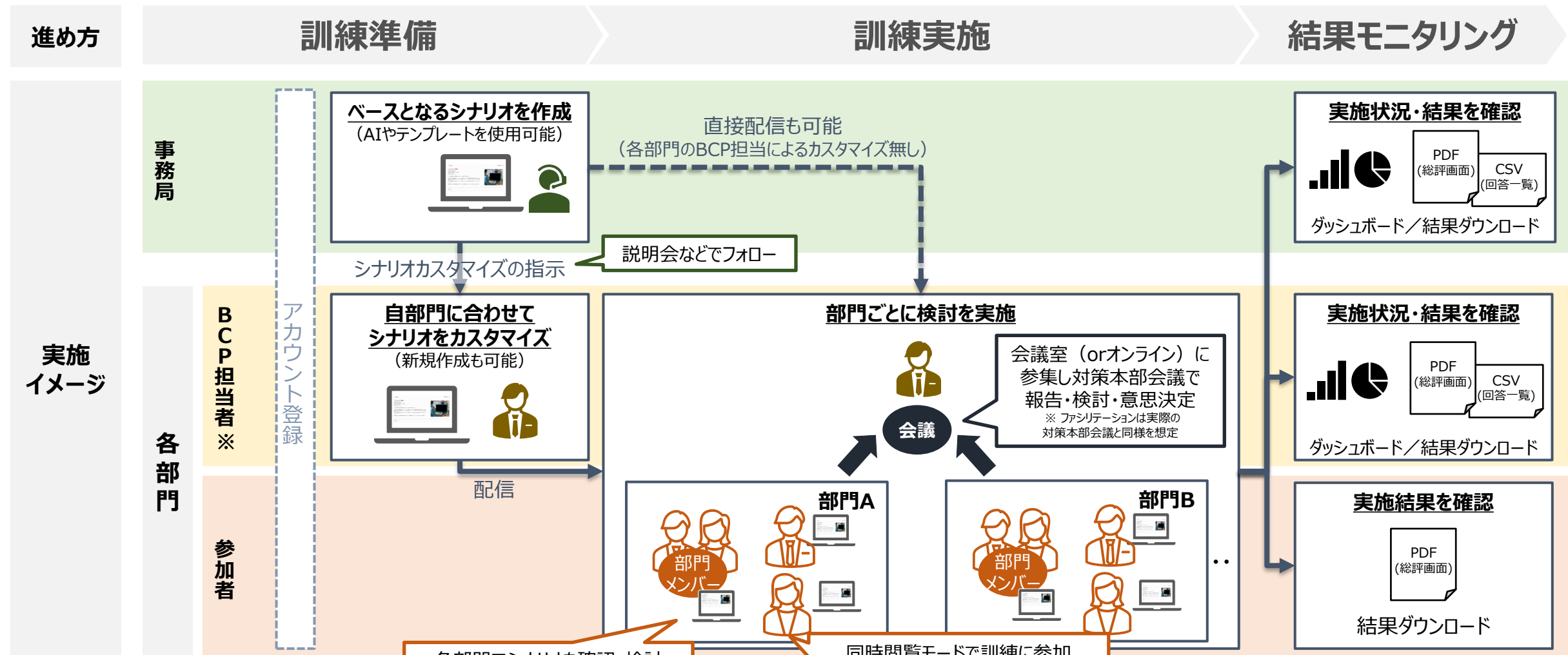
# 【参考】 dan-lo活用事例 – 2. 対策本部訓練（共通シナリオ）

- 対策本部訓練（共通シナリオ）の実施イメージは以下の通りです。



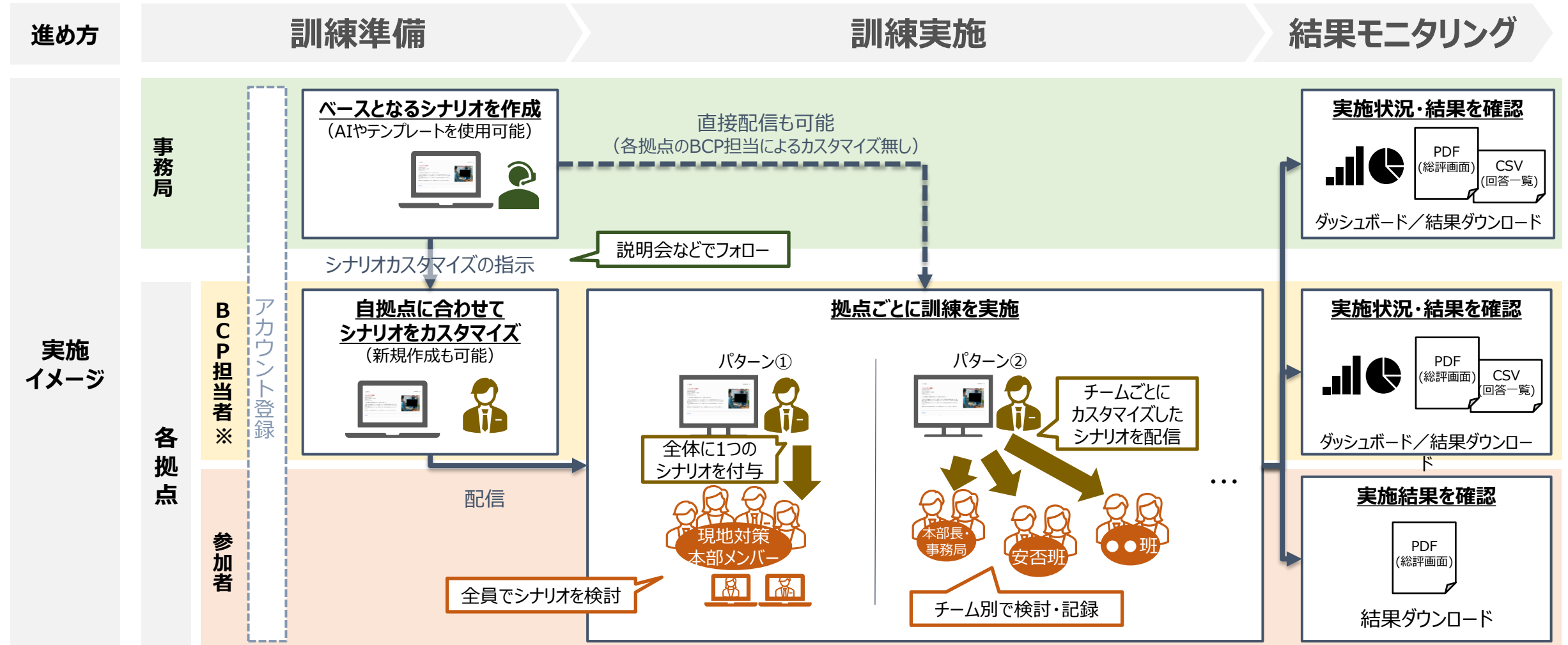
# 【参考】 dan-lo活用事例 - 3. 対策本部訓練（部門別シナリオ）

- 対策本部訓練（部門別シナリオ）の進め方と実施イメージは以下の通りです。



# 【参考】dan-lo活用事例 - 4. 拠点別訓練

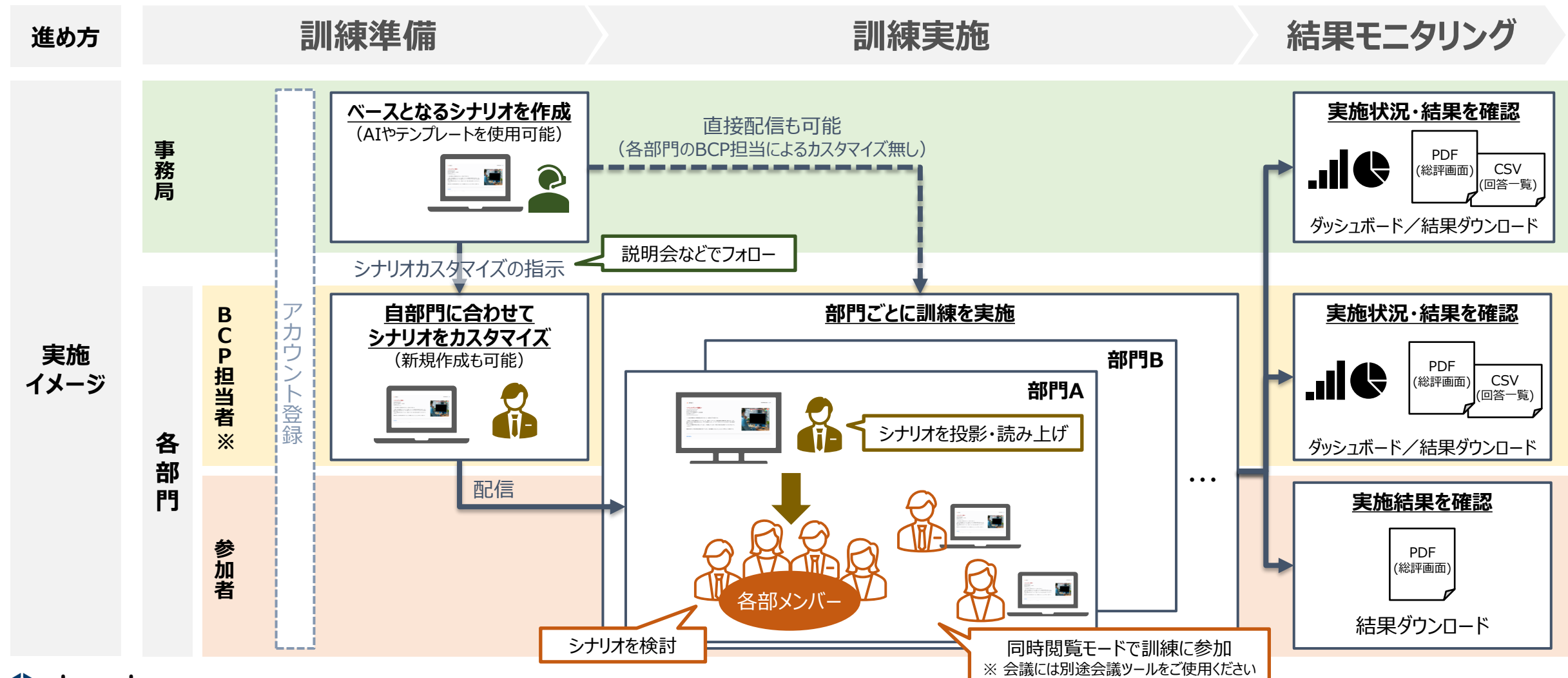
- 拠点別訓練の進め方と実施イメージは以下の通りです。



※ 各拠点のBCP担当者に「管理者」権限を付与する場合の活動。(「管理者」のみがシナリオ作成・配信、実施状況・全体結果の確認が可能)  
支社支店や工場の場合は現地対策本部を、店舗の場合はエリアマネージャー等を想定

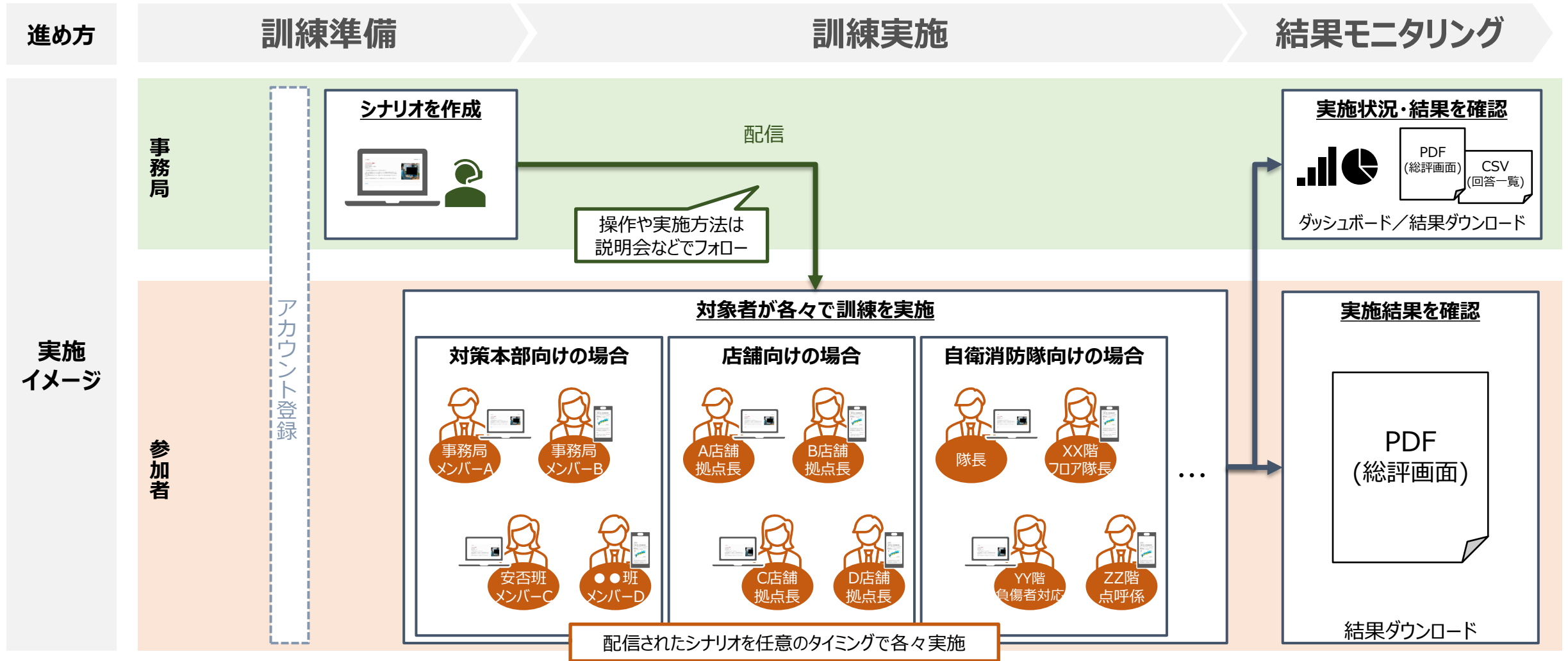
# 【参考】 dan-lo活用事例 – 5. 部門別訓練

- 部門別訓練の進め方と実施イメージは以下の通りです。



# 【参考】 dan-lo活用事例 – 6～8. ルールの周知・教育

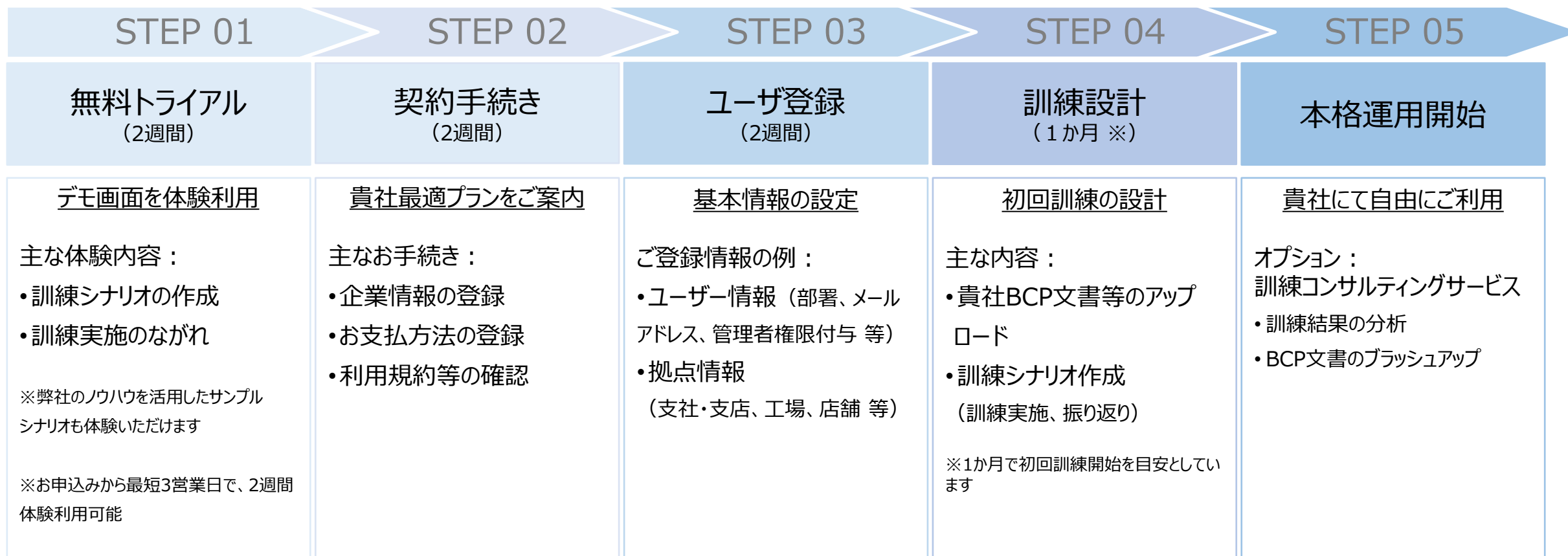
- 個人訓練機能を活用した、ルールの周知・教育の実施イメージは以下の通りです。



# 導入のながれ

※「dan-lo」はブラウザでご利用いただくサービスです。専用アプリのダウンロードはございません

- 無料トライアルで利用イメージを確認後に導入をご検討ください。運用開始までの各種設定等は弊社にてサポートします。



利用方法サポート期間

利用期間（契約日から1年間 ※原則翌年以降自動更新）

# 料金プラン：サブスクリプション

- ご利用のユーザ数に応じた料金プランをご用意しています。

今なら初期費用なし！  
基本料金だけ◎

プラン	ユーザ数	年一人当たり	基本料金(税抜)	ご利用可能なテンプレート
3か月お試しプラン	~ 20 ※ 管理者は最大5名	—	200,000円	10本 + 最新事例1本まで ※ トライアルと同じテンプレート
ミニマム	~ 50	8,000円	400,000円	制限なし
Plan 100	~ 100	7,500円	750,000円	
Plan 200	~ 200	7,000円	1,400,000円	
Plan 300	~ 300	6,667円	2,000,000円	
Plan 500	~ 500	6,600円	3,300,000円	
Plan 750	~ 750	5,334円	4,000,000円	
Plan 1000	~ 1000	5,000円	5,000,000円	
Plan 3000	~ 3000	2,667円	8,000,000円	
Plan 5000	~ 5000	1,800円	9,000,000円	
Plan 10000	~ 10000	1,000円	10,000,000円	
特大	10001 ~	応相談	応相談	

## 【契約条件】

- 上記金額は税抜価格となります。ご請求金額は上記金額に加えて消費税等の税金を加えた金額となります
- 契約期間は契約開始日より1年間(365日)です
- 契約開始月に1年間の総額をお支払いいただきます
- 原則、翌年以降も自動更新となります。ご解約の場合には、契約開始から11カ月目にご解約を書面にてご教示ください

# 料金プラン：コンサルティングとのセットプラン

dan-loとコンサルティングとのセットプランもご利用いただけます。

#	実施事項	dan-lo+フルコンサルティング	dan-lo+簡易コンサルティング	dan-loのみ
1	計画作成	お客様と協議し、コンサルタントが主体となって作成	お客様が作成し、コンサルタントが助言	お客様にて作成
2	シナリオ 作成	お客様と協議し、コンサルタントが主体となって作成	お客様が作成し、コンサルタントが助言	お客様がdan-loを使用しながら作成
3	運営準備	お客様と協議し、コンサルタントが主体となって準備 ※社内調整や設備の手配などはお客様主体	お客様主体で準備 ※ 実施形式等の一部コンサルタント助言可能	お客様にて準備
4	訓練の実施	dan-loを使用し、コンサルタントが訓練のファシリテーションを実施	dan-loを使用し、コンサルタントが訓練のファシリテーションを実施	dan-loを使用し、お客様が訓練のファシリテーションを実施
5	訓練実施結果報告書の作成	コンサルタントが作成	簡易版をコンサルタントが作成	dan-lo上のレポート機能を活用
6	訓練実施結果 管理	dan-lo上で管理・閲覧可能	dan-lo上で管理・閲覧可能	dan-lo上で管理・閲覧可能
7	継続性	今回の訓練1回限り	今回の訓練1回限り	繰り返し使用可能
8	費用	400万円～ (3か月お試しプラン20万円+コンサルティング費用は別途見積を提示)	200万円～ (3か月お試しプラン20万円+簡易コンサルティング費用180万円～)	20万円～ (3か月お試しプランの場合)

# 【参考】貴社での稟議に向けたご説明（例）

## 【導入効果】

- 具体的な訓練を実施することで、自社の危機対応能力が上がる
- 内製で訓練を実施できる
- 訓練計画・準備・実施に係る事務局の負荷を軽減

例) 事務局2名で訓練を企画した場合

事務局	dan-lo導入前(人日)	dan-lo導入後(人日)
訓練シナリオ作成	10	1
訓練評価(課題整理・改善策検討)	5	1
訓練実施(各拠点に訪問)	2 (移動工数+当日ファシリテーション)	0.5 (オンラインで完結)

## 【リスクと対策】

- 初期費用：なし(無料期間中)
- 契約期間：1年間
  - 原則、途中解約不可(払い戻し無し)
- サポート：利用者限定のサポートサイトおよび問合せ窓口あり
  - 機能アップデート、メンテナンス、障害発生時はメールで契約者(および指定の連絡先)に通知

# 【参考】貴社での稟議に向けたご説明（例） – 情報システム部門向け

#	確認項目	回答
1	サービス名	dan-lo
2	機能概要	下記の3要素を包含した BCP・サイバー訓練支援 SaaS <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練シナリオ作成（自動生成/インポート作成/編集）</li> <li>・訓練実施</li> <li>・訓練マネジメント</li> </ul>
3	利用者	企業におけるBCP・サイバー訓練の事務局および訓練実施者（主な利用者の例：総務部、リスク管理課）
4	利用人数	ご契約プランによる ※ 利用者ごとにアカウント登録
5	動作環境：OS	Windows11 ※ macOSのサポートはなし
6	動作環境：ブラウザ	Google Chrome 最新バージョン ※ Edge, Safariのサポートはなし
7	使用するプロトコル	HTTPS（Port番号 443）
8	機密情報の登録	あり（任意で貴社のBCP文書を登録 ※ 文書形式…PDF、PowerPoint、Excel、Word）
9	個人情報の登録	あり（氏名・メールアドレス・所属・勤務地・役職等 アカウント登録時に必須） ※文書内の個人情報はユーザー側でマスキング頂くことを想定
10	認証方式	メールアドレス/パスワード ※ 多要素認証あり
11	データの暗号化	あり（データベース・ファイルの暗号化）
12	AI利用	OpenAI APIプラットフォーム（学習なし） ※ 訓練シナリオ生成時にBCP文書を利用（個人情報のデータ連携はなし）
13	ログ情報の提供可否	お客様の操作ログ等の情報提供は不可
14	利用者データのバックアップの提供可否	提供不可（お客様からのご希望に応じ、バックアップからお客様のデータを取得するサービスの提供はなし）
15	契約終了後のデータ削除	契約終了後にデータを削除（ご要望に応じて削除証明書の提出も可能）
16	問い合わせ・サポート	利用者限定のサポートサイトおよび問合せ窓口あり 機能アップデート、メンテナンス、障害発生時はメールで契約者（および指定の連絡先）に通知

# 【参考】 dan-lo トライアル用チェックシート

#	チェックポイント	✓
<b>貴社－弊社間でのコミュニケーション・ステップ</b>		
1	トライアル人数のご希望を教えてください（原則、最大10名程度）	
2	トライアル開始日・終了日のご希望を教えてください（原則、2週間程度）	
3	無料トライアル利用規約を確認してください	
4	0円の見積書・注文書を発行します。注文書右上に必要事項を記入の上、返送してください（メールでのPDF添付・電子契約・郵送等 可能です）	
5	「企業登録シート」「トライアルユーザー登録シート」を記入の上、返送してください（トライアル開始予定日2営業日前まで）	
6	トライアル開始日に、利用開始メールとログイン案内メールをお送りします	
7	トライアルご利用に際し、操作説明会を実施させていただきます。日程調整にご協力ください（トライアル開始後、数日以内をめど）	
<b>トライアルに向けた貴社内でのご確認事項（例）</b>		
1	生成AIの利用は認められていますか？ ※ dan-loで使用するAIはOpen AI(企業版)で、機械学習を行いません。詳細は <a href="#">Open AIのWebサイト</a> をご参照ください。	
2	情報システム部門への事前申請は必要ですか？	
3	SaaSシステム・サービス導入に向けた調査票やチェックシート、申請資料等がありますか？	
4	セキュリティ審査の期間はどれくらいかかりますか？	
5	利用規約の確認は誰が対応しますか？ 法務チェックは必要ですか？	
6	SaaSツール無料トライアルの承認権限は誰にありますか？ 稟議書のご提出先はどこですか？	
7	トライアル申込(0円見積・注文書の契約締結)者は誰ですか？	
8	どの会議体でdan-loトライアル・導入について検討しますか？	

# VISION

「あの時もっとこうしておけば良かった」を  
世界から失くしたい

人は傷つき、失ってから気づく。

「あの時もっとこうしていれば良かった」と。

我々ニュートン・コンサルティングは  
そんな思いをする人達を世界から失くしたい。

今、やるべきことを見える化し、

後に後悔しないようにしっかり取り組む。

そうすることで、組織は将来にわたって永続的に、  
安心して目標達成に邁進することができる。





## ニュートン・コンサルティング株式会社

TEL: 03-3239-9209

FAX: 03-5913-9950

Mail: [info@newton-consulting.co.jp](mailto:info@newton-consulting.co.jp)

HP: <https://www.newton-consulting.co.jp/>